

# 情報システム管理室

和田悠久 増淵一希 山口純和 矢島啓司

情報システム管理室では、病院内における情報システムの企画・運用・管理やユーザー支援・研修、情報資産の安全管理などを行っています。

患者さんが来院され受付から診察や入院、検査、会計まで、円滑な医療サービスが提供できるように、情報システムの安定稼働を管理しています。

また、病院のICT化により得られた様々なデータを分析して病院の運営に生かし、さらなる医療サービスの向上や医療の効率化を目指し、当院および地域医療に貢献できるように努めています。

## 業務内容

1. 電子カルテシステム、基幹業務（コンピュータシステム） 導入、運用、保守、管理
2. ハードウェア 導入、保守、管理
3. ソフトウェア 導入、保守、管理
4. サーバー 導入、保守、管理
5. 各種部門システム 導入、保守、管理
6. 院内ネットワーク 導入、保守、管理
7. イン트라ネット 運用、保守、管理
8. 院内ユーザーのヘルプデスク
9. 院内行事のシステムサポート
10. 経営判断資料、各種調査等に係るデータ抽出、集計、加工
11. 統計資料（診療科別統計、科別損益ほか）の作成

## 平成25年主なシステム対応イベント

- 3月 JMIP認証取得  
乳腺外科外来開始  
情報システム管理部会
- 4月 救命救急センター指定
- 7月 脳卒中セミナー システムサポート
- 8月 外傷センター開設

- 10月 理事長交代  
電子カルテサーバストレージ追加  
PACSサーババージョンアップ  
フットケアセミナー システムサポート
- 11月 日本美容抗加齢医学会 システムサポート
- 12月 ヘルニア学会 システムサポート

## ●新規プロジェクトが続いた1年

今年は乳腺外来、救命救急センター、外傷センター等、新プロジェクトの開始が続き、それに伴うシステム設定に追われました。

また、JMIP (Japan Medical Service Accreditation for International Patients) 認証に伴いシステム開発やシステムサポート（データ出力及び集計）にも取り組み、これまでわからなかった外国人の来院傾向を調べることも可能となりました。

## ●診療スタッフが安全で質の高い医療を提供できる情報システムの運用

JCI基準に沿ったシステム開発および対応に取り組みました。今まで当然のように考えてきた仕組みでは対応出来ないことが多く苦労したところです。

しかしJCIの基準は当然なことが多く、システム化による効率化、負荷軽減の考え方を再確認しました。

統計資料では、BIツールの積極利用を啓蒙し、経営方針を決定する1つのツールとして活用してもらえよう進めてきました。現場スタッフの要望を積極的に取り入れたツール作成に取り組みました。